

事務事業名	社会体育学校開放事業				会計	一般会計		事業種別	経常	開始	S51	終了	
H27担当課等名	生涯学習・スポーツ課		H27係等名	スポーツ施設係		H26係等名	スポーツ施設係						
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり				施策	26	スポーツの振興				
目的	対象(誰・何を)	学校開放体育施設				対象指標	指標名及び単位			26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	利用者が安全で良好な環境で利用できるよう維持管理する。					学校開放施設(体育館・校庭・武道場)数			56			
	向上させたい上位施策の成果指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:(%)											
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	不具合発生件数:(件)				75	75	75	70				
	定性目標												
事業概要	<p>地域の学校体育施設を地域に開放するための経費。                  モップリース代、電気代、消耗品など学校体育施設を地域に開放するためのコストを負担する。                  人口規模の大きい地区においては、学校開放運営委員会を組織して、定期的な会議を開催して、利用調整と施設の適正管理を図る。</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	学校施設の社会体育への開放のために必要な管理を実施する。 1 学校開放施設の維持管理(小中学校体育館、グラウンド、武道場) 電気料、モップリース、消耗品、原材料ほか 2 学校開放運営委員会の開催					1 学校開放施設数  2 対象施設数 開催回数			1 56施設  2 6施設 8回				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		10,683	11,333	11,300	10,673	(そ)社会体育学校開放施設使用料							
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他		157	317	108	317								
一般財源		10,526	11,016	11,192	10,356								
人件費計(千円)②		1,359		1,359									
正規職員所要時間		380		380									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		12,042	11,333	12,659	10,673								
事業内容・目標達成状況の振り返り	減免手続が利用者に浸透して対象となる事例が増えており、使用料収入が減少している。												
改革改善の考え方	①問題点	利用者数と使用料収入の伸び悩みから維持管理に要する経費の一般財源への依存度が増している。											
	②改革提案	負担の公平性を確保するため、使用料と減免規定の見直し検討を行い、受益者に一定の負担を求めていくのと同時に施設の良好な維持管理に努める。											